

# Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は ① 表示です。

平成17年 1月25日 作成  
平成20年 5月 1日 更新

BOX No.114401

車両情報

日産 NOTE (ノート)

平成17年1月~20年1月

E11系

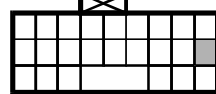
1/2ページ

ES-89Light **Type** N.L.

**Opt.**

① 専用ハーネス：VN109Pを使用する場合のみ、必ずPポジション（青）の配線をしてください。

グローブBOXを外して  
CVTコントロールユニットの  
24P白色カブラ



**Pポジション(青)**  
紫

メーター裏側  
40P白色カブラ



**L端子(茶)**  
青

コラムカバー内左下側  
キーシリンダ直付け

**専用ハーネス**  
※別紙を参照

① 専用ハーネスの取り付け手順は、2/2ページの注記を必ずご覧ください。

① 注意事項：専用ハーネスについて取り付けする車両により、専用ハーネスが異なります。別紙（車種別専用ハーネスについて）を参照して確認をしてください。

① イモビ対応ユニットの取り付け（イモビライザー装着車のみ）については、2/2ページを参照してください。なお、イモビライザー（インテリジェントキー）付き車で以下の車体番号の車両には、N-1イモビ対応ユニットでは、取り付けができません。

E11-300001~  
NE11-080001~

① 運転席側カバー類の外し方

- ① ロアカバーを外す。
- ② キーシリンダ周囲のカバーを外す。
- ③ コラムカバーを外す。（下側からネジ3本）
- ④ 右側ピラーのカバーを外す。

① ドアロック/アンロックの配線については、2/2ページをご覧ください。

バックドアを開けて右側にある  
ラゲッジルームランプの  
4P白色カブラ



**バックドア(白/黒)**  
青

① バックドアの開検出を行う場合に配線する。ドア検出ユニット（別売）が必要です。

① 特有の注意事項（使用できない機能等について）

- ① オートロック機能は、使用できません。…機能が作動しないため。

A/T車設定が必要な行 ↓ のみ

(A/T車設定作業について)  
配線・受信機取り付け終了後、  
下記の手順で設定を行って  
ください。

- ① 車両のキースイッチをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後（約3秒後）Pレンジに戻す。
- ④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤ 設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスターターでエンジンがかかりません。

**配線内容(受信機CN2緑色)**  
車両配線色

止めネジ等



足踏み式  
Pブレーキスイッチ  
1P黒色カブラ

**Pブレーキ(橙)**  
空色

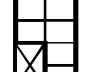
コラム内下側  
黄色カブラの右側  
8P灰色カブラ



**ホーン(緑)**  
橙

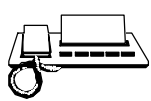
① 機能付き機種のみ配線

ピラーのカバーを  
外した下側中継  
10P白色カブラ



**ドア(紫 or 白/黒)**  
茶

① バックドア以外の全ドアの開閉を検出。



# Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

平成17年 1月25日 作成  
平成20年 5月 1日 更新

BOX No.114401

車両情報

日産 NOTE (ノート)

平成17年1月~20年1月

E11系

2 / 2 ページ

ES-89Light **Type** N.L.

**Opt.**

## ① 注意事項

- エンジンイモビライザーシステムが装着されている車両は、エンジンスターターは、イモビライザー対応モデル (受信機に4極コネクタが付いているモデル) のみ取り付けできます。
- 取り付けの際は、N-1イモビ対応ユニット (EP089) を使用します。
- 詳細は、イモビ対応ユニットの取付説明書を参照してください。

- ① なお、イモビライザー (インテリジェントキー) 付き車で以下の車体番号の車両は、N-1イモビ対応ユニットでは、取り付けができません。

E11-300001~

NE11-080001~

## ドアロック・アンロック

運転席ドア  
集中ドアロックスイッチのユニット  
3P白色カブラ



ドアロック (灰)  
灰

運転席ドア  
集中ドアロックスイッチのユニット  
16P白色カブラ

アンロック (黄)  
紫



(L)

## ① 使用上の注意事項：エンジンイモビライザー (インテリジェントキー) 付き車のみ

※エンジンスターターで始動してアイドリングをした場合は、以下の注意事項を守ってご利用ください。

- ①必ずエンジンを止めてから乗車してください。…エンジンスターターのSTOP操作でエンジンを止める、又はドアタイマー機能を「使用しない」に設定して、ドアを開けたときにエンジンを止める。…以下は、その理由

- エンジンスターターでアイドリング中は、キーのノブがロックされて回らなくなるため。…車両の構造なので、異常ではありません。エンジンを止めると、ノブは回るようになります。

- ②乗車後は、ノブを回してエンジンを始動してください。

## ① 注意…専用ハーネスの取り付け手順

- コラムカバー内のスペースが非常に狭いため、専用ハーネスを取り付ける際は、以下に示した手順にて作業をしてください。手順のとおりに行わない場合、専用ハーネスが収まらずコラムカバーが復元できない (止まらない) ことがあります。

- ①キーシリンダから6Pカブラを外し、コラム上側から右側へのハーネス束を外して、6Pカブラのハーネスをコラム右下側に引き出す。

- ②外した上側から右側へのハーネスは、ビニールテープでテーピング処理して、元通りに固定 (復元) する。

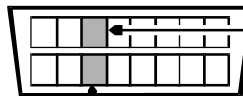
- ③コラム下側で、専用ハーネス (6Pカブラ) を割込接続する。

- ④専用ハーネスのケーブル・中継カブラ・リレーは、コラム右下側から奥に引き回し、コラムカバー (下側) が復元できるように処理する。

## ① 警告

- CAN-L、及びCAN-Hを診断コネクタの配線に接続する際は、確実に間違いの無いように作業を行ってください。
- 接続を間違えると、車両に重大な影響を及ぼす場合があります。

16P診断コネクタ



CAN-H (青)  
青

- ①イモビ対応ユニットの青色線を接続する。

CAN-L (橙)  
桃

- ①イモビ対応ユニットの橙色線を接続する。

配線内容(受信機CN2緑色)

車両配線色

# 車種別専用ハーネスについて

VN109P 共通追補版

平成20年 5月 1日

日産のCVT車（1500ccの2WD車）に取り付け時の注意事項

## ■ CVT車（1500cc:HR15DEエンジンの2WD車）に取り付けする場合

専用ハーネス
VN109P

※初年度登録が2006年（平成18年）12月以降で、以下の車両型式一車台番号の車両が該当します。

NOTE（ノート）	E11-210001～
ウィングロード	Y12-050001～
キューブ	YZ11-047001～
キューブ キュービック	YGZ11-121001～
ティータ	C11-140001～
ティータ ラティオ	SC11-097001～

### ①専用ハーネスは、必ずVN109Pを使用してください。

❶ N108またはVN108（CVT車以外の専用ハーネス）で取り付けをしても、エンジンスターターでエンジンが始動しません。

### ②エンジンスターターは、●ES-89ProLightのシリアルNo. R0013401以降の製品 ●ES-89ProLight II（シリアルに関係無く） ●ES-89PicoのシリアルNo. G0131001以降の製品 ●ES-89CuteのシリアルNo. H0057301のみ、取り付けすることができます。

❶ 上記以外のモデルで誤って取り付けされると、車両のエンジンチェック警告灯が点灯したまま消えなくなる、走行時にアクセルを踏み込んでもエンジンの回転が上がらなくなる等、車両側のトラブルが起こる場合があるため取り付けはできません。

## ■ 上記のCVT車（1500cc:HR15DEエンジンの2WD車）以外に取り付けする場合

専用ハーネス
N108
VN108



### ①専用ハーネスは、N108またはVN108を使用してください。（次ページも参照のこと）

❶ VN109P（CVT車の専用ハーネス）でも取り付けは可能ですが、Pポジションの配線が必要になり、専用ハーネスの価格も割高になります。

### ②エンジンスターターは、全ての製品を取り付けすることができます。

日産のCVT車（1500ccの2WD車）に取り付け時の注意事項

上記のCVT車（該当車両）は、燃費改善のために車両側のエンジンコントロールシステムが変更されています。

❶ 必ず、上記で指定した条件（専用ハーネスと取り付けするエンジンスターターのモデル）を守って、取り付けを行ってください。

❶ 万が一、指定外の条件で取り付けされた場合、エンジンスターターによる始動不具合、または車両側のトラブル・故障等については、一切その責任を負いませんのでご了承ください。

# 車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

平成19年 9月 1日

## ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

### ■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

- ①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、必ずヒューズ（25A）付きの専用ハーネス（VAS対応品）で取り付けをしてください。



- ❗車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、Ⓥの表示をしてあります。

左記の場合、VN108がVAS対応品です。

- ②初年度登録が2006年（平成18年）6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

### ■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル（オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル）については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

## ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準（新保安基準）に適合しており、全国自動車用品工業会（JAMA）の盗難発生警報装置自主基準（VAS）を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。（以下を確認してください）

- ①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）の使用が必須となります。

- ②盗難発生警報装置（機能）を使用する場合、全てのドア（バックドア等も含む）開検知が必要です。

❗該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット（別売）が必要になります。

- ③登録証（全国自動車用品工業会自主基準登録証）は、必ずお客様にお渡しください。

❗製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しください。

なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。